

経済常任委員会報告



平成21年度阿蘇市一般会計補正予算について

〔商工観光課の所管分〕

問 イメージソング作成委託料について説明を求めます。

答 阿蘇市をPRするために新たにイメージソングを作り、その曲を含め6曲程度を収録したCDを製作するためのものです。

問 地域特産物加工技術研究事業について説明を求めます。

答 神楽苑において、新しく雇用したスタッフを中心に、大学や料理人等の協力を得て、新たな農産加工品を開発するものです。

問 この事業は、ふるさと雇用再生特別事業の一環として行われるが、どのようにして継続雇用につなげていくのか。

答 継続して雇用するためには、今後、それに対応できる組織や会社の立ち上げが必要になると思います。

問 委託料の324万円というのは2人分の賃金としては妥当な金額なのか。

答 この事業を受託した会社において、月額15万円から30万円の間で、単純な労務から高度な技術や知識を必要とする職種を勘案し決定することになります。なお、委託料に占

める人件費の割合は5割以上であるということです。

問 観光インフォメーション事業委託料について説明を求めます。

答 観光協会と旅館組合が入っている事務所は、現在3名体制ですが、1名増員してレベルアップを図るものです。なお、観光協会については、将来的には観光客受入れの受け皿となるために、法人格を取っていただきたいと思っています。

〔農政課の所管分〕

問 広域農道整備事業建物撤去工事について説明を求めます。

答 枳団地の一部が、農道整備の用地に必要なことから、団地内にある畜舎4棟全てを撤去するものです。用地として必要な部分は、

団地全体面積の5分の1程度となりますが、環境面等を考慮して、全体を更地にする事としてしています。なお、この団地は、補助事業で建設されましたが、現在残存価額がありますので、今後、補助金適正化法の規定に基づき、補助金の一部を返還することになります。

問 阿蘇望橋塗装工事について説明を求めます。

答 木橋であることから、5年に1回塗装することが義務付けられています。工事は、昨年度と本年度の2年に分けて行うこととしていますが、総工事費は1千万円程度となります。

問 園芸新たな挑戦強化対策事業補助金の静電噴口導入について説明を求め

答 トマト栽培における病害虫駆除のためのノズルを13基導入するもので、静電気を帯びた農薬を散布するた

め、作物への活着が良くなるということで、本年度から補助事業の対象となりました。



5年に1度塗装する阿蘇望橋（波野）

建設常任委員会報告



話し合いは終わっているのか。

問 5月末に地域住民の方々と現地で話し合い、納得していただきました。

答 1DKの部屋は、入居が少ないと聞いている。1DKは見直したほうが良いと思うが。

問 新小里団地に1DKを4戸造りましたが、これは建て替え、住み替えのために造ったものです。

問 2人所帯で入居し、1人が欠けた場合、1DKに移れとも言えず、1人で住むことになる。先々のことを考えると、1DKの狭い部屋を造っても意味がないのではないか。

答 この2棟に関しては1DKを造り、修正しなければならぬ場合は、適宜考えていきたいと思っています。市営住宅建設については耐用年数ばかりで考えずに、森林・林産業の活性化を図るためにも、地元産材の使用を考えることはできないか。

問 木造住宅では耐用年数が短いことからまずは耐用年数の長い鉄筋コンクリート造とし、その後に木造建設も取り入れたいと考えています。

平成21年度阿蘇市下水道事業特別会計補正予算について

最初に次の説明がありました。

債務負担行為の補正は、阿蘇市浄化センターの改築・増設工事を行うためのものです。浄化センターは、昭和61年の供用開始から23年が経過し、施設等の老朽化が進んでいます。このため処理場の大規模改修と処理場能力アップのため増設を行う

ことになっています。修理費等が高額になり、布設替えをしなければならぬ状況であるが、一方では黒川地区の整備が進められている。補修管理費が増えてくると計画通りに整備が進まない。今後の厳しい財政状況と受益者負担との兼ね合い、それと事業の推進をどのように考えているか。

問 経営状況が厳しく、浄化センターの方に力を注いだ場合は面工事（新たな下水道管布設工事）を減らさなければなりません。事業の進め方については、予算の関係で面工事が少し遅れることになりませんが、浄化センター等の長寿命化を図っておかなければならないと考えています。

問 黒川地区が着工したが、今の財政状況からすると20年位かかると思う。財政を圧迫する中で、関係省庁の認可を取って進めなければならぬ。一方、宮地を始め他の地域についても環境整備の面

から進めなければならぬが、公共下水道より各集落単位で出来る事業がありはしないかと思う。今後の下水道事業をどういう方向で進めていくのか。

答 対象地域を見直す必要があると思います。地域から外れた所は、合併浄化槽や集落排水等での対応が考えられると思います。

問 水道を使って稲に散水する場合、下水道には水を流さないのに、下水道料金を払う

ことになる。どのように考えているのか。

答 申請があれば、個人負担で別メーターを設置していただき、その分は差し引くようにしています。

問 下水道管（ヒューム管）の現況写真を見ると、内側が減って鉄筋が出ていますが、布設替えをするのか。

答 現在の管の中に塩化ビニールのようなものを入れ、膨らませて密着させる等の更正工法により対処します。



老朽化した下水道処理施設内